

(5) 高齢者等のための設備

高齢者等のための設備状況別住宅数をみると、東京都の平成20年の居住世帯のある住宅数594万戸のうち、設備がある住宅数は266万戸で、住宅全体の44.8%となっており、全国の48.7%に対し、3.9ポイント低い。

平成20年の高齢者世帯(65歳以上)の住宅数163万戸のうち、設備がある住宅数は102万戸で、高齢者世帯(65歳以上)の住宅全体の62.4%となっている。

また、高齢者世帯(65歳以上)で、平成20年の設備がある住宅数の割合を平成15年の52.2%と比較すると、10.2ポイント上昇しており、高齢者等のための住宅設備の設置が進んでいる。内訳をみると、平成15年、平成20年ともに「手すりがある」が最も多く、次に「またぎやすい浴槽」となっている。(表5、図5)

表5 高齢者等のための設備状況別住宅数—東京都(平成15年・20年) (単位:戸、%)

	全国	東京都			
		居住世帯のある住宅数	居住世帯のある住宅数		高齢者世帯(65歳以上)の住宅数
	平成20年	平成20年	平成15年	平成20年	平成15年
総数	49 598 300	5 939 900	5 434 100	1 627 900	1 498 300
設備がある住宅数	24 145 800	2 663 400	1 812 600	1 015 500	781 400
手すりがある	18 517 700	1 892 700	1 314 000	827 200	640 800
またぎやすい浴槽	11 344 800	1 247 900	773 300	520 200	363 100
廊下車イス通行	7 999 600	960 200	592 200	336 200	230 400
段差のない屋内	9 898 600	1 278 400	706 300	384 500	231 800
道路から玄関まで車イス	6 162 500	976 300	573 800	315 800	209 300

注1) 設備の内訳については複数回答であるため、「設備がある総数」と一致しない。

注2) 高齢者等の設備状況「不詳」を含む。

注3) 高齢者世帯(65歳以上)とは、世帯員に65歳以上の高齢者のいる住宅数を示す。

図5 高齢者世帯(65歳以上)で設備がある住宅数の割合—東京都(平成15年・20年)

